

火山噴火予知連絡会 第2回口永良部島部会 議事概要

1. 部会の概要

日 時 : 令和2年12月18日(金) 10:00~12:00

部会委員: 井口部会長、篠原副部会長、上田、大湊、神田、楠、下司、齋藤、中尾、中田、中村、宮村、宗包、森

2. 議事概要

口永良部島の現在の火山活動の状況について確認を行うとともに、総合観測班の活動状況等について情報共有を行った。

概要は以下のとおり。

- 口永良部島の現在の火山活動について、観測結果やその解析結果に基づき、下記の視点から検討を行い、規模の大きな噴火の可能性は低下していることを確認した。
- ・ GNSS 連続観測による 2019 年 10 月頃からの基線の伸びから、地下でマグマが蓄積され、その蓄積量は 2015 年噴火発生前の状態に匹敵すると考えられていたが、その後基線の伸びは停滞し、大きな噴火に至っていないことについての解釈。
- ・ 新岳火口周辺で 8 月頃までわずかにみられた膨張傾向、また、新岳火口直下で 8 月頃から増減を繰り返した地震活動等。
- 総合観測班の活動状況等の報告を行い、各機関の観測体制や今後の観測計画について情報共有を行った。

3. 今後の予定

- ・ 部会においてとりまとめた検討結果を、第 147 回火山噴火予知連絡会に部会長が報告。
- ・ 各機関の観測結果や計画について、引き続き情報共有を行う。
- ・ 火山活動に急な変化があった場合は、部会を開催し、臨機に火山活動の評価を実施。

火山噴火予知連絡会 第2回口永良部島部会 (令和2年12月18日)

○口永良部島部会委員

部会長	井口 正人	京都大学 防災研究所 教授
副部会長	篠原 宏志	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 特命上席研究員
委 員	上田 英樹	国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター 火山観測管理室長
//	大湊 隆雄	東京大学 地震研究所 教授
//	神田 径	東京工業大学 理学院 准教授
//	楠 勝浩	海上保安庁 海洋情報部 沿岸調査課長
//	下司 信夫	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 大規模噴火研究グループ 研究グループ長
//	齋藤 誠	気象庁 気象研究所 火山研究部長
//	中尾 茂	鹿児島大学 大学院理工学研究科 教授
//	中田 節也	国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山研究推進センター長
//	中村 浩二	気象庁 地震火山部 火山監視課長
//	宮村 淳一	気象庁 地磁気観測所長
//	宗包 浩志	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室長
//	森 俊哉	東京大学 大学院理学系研究科 准教授

(14名、五十音順)